

波 動

一般に「波動」と言えば音や電波などを連想しますが、ここで言う「波動」はやや特殊な意味で、現代科学で未だ認知されていない超微粒子(またはそれから放射される超微弱なエネルギー)のことを指します。そしてこの「波動」は、人間・動物・植物・鉱物のような有形のものから、感情・意思のように無形のもの、さらには種々の病気のような“現象”に至るまで、それぞれ固有のエネルギーを有しているものとされています。近年、「波動」を測定する装置が相次いで開発され(例えばMRAやMAX)、今まで困難であった病気の診断、治療をはじめとして、水の改質、食べ物・飲み物の評価、農業への展開など、健康・環境関連分野で目覚ましい応用発展を遂げつつあります。

波動による病気治癒のメカニズム

波動理論によれば、例えば「がん」という病気の場合、冒された細胞から放射される非常に乱れた波動が装置によって検知されます。これに対して「がん」の“修正波動”と呼ばれる正常な固有波動を患部に送り込むことにより自然治癒力を高め、乱れた波動を徐々に軌道修正し、健康を回復させていくものです。“修正波動”の送り方として最も手軽で簡単な方法の例としては、それぞれの病気に対して効果のある波動(修正波動)を放射している食物を食べたり、同様の資材を患部に当てる、あるいはそれを浸した水を飲むことなどが考えられます。

波動測定結果

項 目	測 定
免疫機能	+20
が ん	+20
膵 臓	+20
アレルギー	+19
アトピー	+16
肝 臓	+18
糖尿病	+21
自律神経	+19

蝦川貞好理学博士による
波動測定結果。-21が最低値・+21が最高値で、+10以上あれば治癒力があるとされています。

癒し効果のある物質波比較表

項 目	トルマリン	ブラックシリカ
糖尿病	+33300	+59600
高血圧	-1	+46800
低血圧	-1	+47400
胃	+21800	+45700
リウマチ	+11300	+45500
口臭	+34600	+56700
関節炎	+29200	+48500
腎炎	-3	+18500

量子医学研究所・中村國衛医学博士の
測定による物質波の測定データ・
+1000以上出ていると明確な「癒しの効果」が期待できると考えられています。